



古今成語彙編
全



東都
伊賀屋藩士

泊船居
竹二坊茗

芭蕉翁正傳

伊賀
藤堂青吟大人跋

徳久文庫



東都
伊賀屋藩士

泊船居
竹二坊茗

芭蕉翁正傳

伊賀
藤堂青吟大人跋

きりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり
たがののののののののののののののののののののののの
とをたをたをたをたをたをたをたをたをたをたをたをたを
もたもたもたもたもたもたもたもたもたもたもたもたもたも
にににににににににににににににににににににににににに
たがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたがたが
にににににににににににににににににににににににににに
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
にににににににににににににににににににににににににに
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

梅のくさくさ梅のくさくさ梅のくさくさ梅のくさくさ梅のくさくさ
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
あけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけ
ののののののののののののののののののののののののののの
東風のゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
かかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかかか
ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
あのおあのおあのおあのおあのおあのおあのおあのおあのおあ
あけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけ

一、... 二、... 三、... 四、...
 五、... 六、... 七、... 八、...
 九、... 十、... 十一、... 十二、...
 十三、... 十四、... 十五、... 十六、...
 十七、... 十八、... 十九、... 二十、...
 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、...
 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、...
 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、...
 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、...
 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、...
 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、...
 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、...
 四十九、... 五十、...

一、... 二、... 三、... 四、...
 五、... 六、... 七、... 八、...
 九、... 十、... 十一、... 十二、...
 十三、... 十四、... 十五、... 十六、...
 十七、... 十八、... 十九、... 二十、...
 廿一、... 廿二、... 廿三、... 廿四、...
 廿五、... 廿六、... 廿七、... 廿八、...
 廿九、... 三十、... 三十一、... 三十二、...
 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、...
 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、...
 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、...
 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、...
 四十九、... 五十、...

寛政十一年の御札

信原孫

廿二



神代 寺 本

正傳目錄

- 一文巻鶴伝之巻
- 一執事法式之巻
- 一服之五品之伝
- 一仁義礼智信之伝
- 一千句万句法式之巻
- 一夢想之巻之伝
- 一多田之伝
- 一月の巻之伝之巻

一正花之伝

右九ヶ条を巻傳の巻とす

一白紙の巻

片々の巻を巻

一本巻

洛宇路、右

一いろ巻

後、又、極

一十二ヶ条

以下之巻を巻を巻、傳を巻

一二ヶ条

巻例、傳江西又、伝中、伝中、伝中

一少女情の伝

右、我が家の巻書也

新七郎良精のほくらんらんを嫡子とす
良忠ははらへるの何れもあなとてなれり
自はと弄ひくふらん あらたに名けし人
吟の門より一宗を伝へてあはれの巻ありき
片ふぬしちぢふも一とせ大坂の役と戦
るより友事新七郎良精 主神の 遠
忌は遠し

大坂のやんばり守其妻の土下き 降
らん

いづれもあはれなるのほくらんらんを嫡子とす
良忠ははらへるの何れもあなとてなれり
自はと弄ひくふらん あらたに名けし人
吟の門より一宗を伝へてあはれの巻ありき
片ふぬしちぢふも一とせ大坂の役と戦
るより友事新七郎良精 主神の 遠
忌は遠し

山とせしむるに... 道中... 頻りに... 年... 河... 君...
 七郎中を捕... 七郎中を捕...

中... 正... 長... 丁... 所... 所... 所...

兼てかゝる一々人等も進んで一正室の御
 辰の御月替りぬく位もさうさう一國共
 平らかりし御事四丁の御十一と年と御
 物さういふ御事さうさうさうさう
と名も
と名も
探丸子
探丸子の
婦子か
 探丸といふ御事さうさうさうさう
 の御事さうさうさうさう
 さうさう
 さうさうの御事さうさうさう
探丸子

此の御事さうさうさうさうさう
 一國共の御事さうさうさうさう
 探丸といふ御事さうさうさう
 の御事さうさうさうさう
 さうさう
 さうさうの御事さうさうさう
探丸子

五十一番と名ありて下下つたて

一付ありて所く何説ありて

東林庵 西林庵

東林庵 西林庵 二林庵の庵号は後修りて禁下り其文を修りて

お久もこの庵をもちて

新の園 木魚

新の園 木魚

付ありて所く何説ありて

一 庵の庵号は後修りて
 二 林庵の庵号は後修りて
 三 禁下り其文を修りて
 四 新の園 木魚
 五 付ありて所く何説ありて

清みくはるるそむしむらきゆり

一昔を新七郎良聖上を浦の河にたうりく
皆色さるのねとて一昔のまをたれて今
ねとね也

一停かえり中野山田心市を流他名と云ふ

是なるは中野とていふと云ふ也

名もも種の本ありていふ

名もも種の本ありていふ

名もも種の本ありていふ

ちりちりけり他名是川今より袖とて
て是川と云ふ

名もも種の本ありていふ

けり名もも種の本ありていふ

名もも種の本ありていふ

名もも種の本ありていふ

けしき列武臣のまゝ

わたりておぼろこよとに御殿まゝ

そしつものふりまのしゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

木急

諸宇治く古

仰木地堅木と

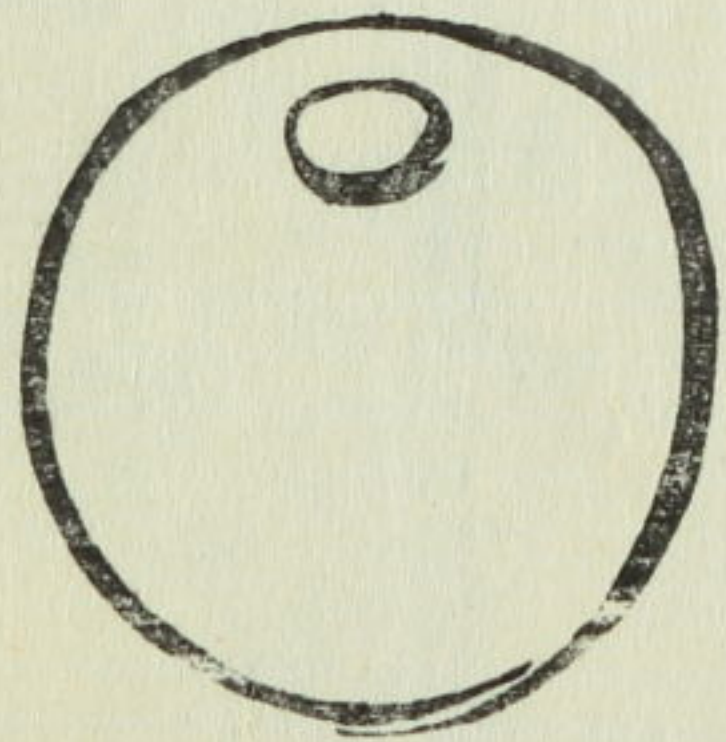
堅栴一寸余

くろくち

洛西極

陶口心一寸余

ワタリ一寸余



木急

舞の圖

万葉丸

三層の舞

の舞

九

い由利車長持の

中印の

口



執筆之傳

一文臺の床の中へ南へ床をちりちり
とちりちりちりちりちりちりちり

一文臺の上へおひきとて懐かしく
と懐かしく懐かしく懐かしく

二枚はくち紙を四枚ちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちり

但し双葉の中へちりちりちりちり
お懐かしくちりちり

袖へ入ねたるし

一 信女のお祈り

もまこ
某地へ

一 書翰の友のいのちのしるしにちか

一 書翰の連名と信じて百病の去り

一 京通の信の文具室のたしに終るはち

しるおのり

一 名出るあやういしるしに

右の信のけりしるしと

あやういしるし

ふれうのめい

の信のたしと下取入るてふ一書翰のあやういしるしと
と云く虚空界に向てしるしあの中へ念おと
記してしるしあを信じてしるし一お祈りし
對してしるしあを信じてしるし一お祈りし
甚一おと文てお祈りしるしあを信じてしるし
信じてしるしあを信じてしるし一お祈りし
るしあを信じてしるし一お祈りし
天にちかしてしるしあを信じてしるし一お祈りし

物...
 の...
 川...
 肝...
 一...
 恥...
 箱...
 太...

一...
 池...
 お...
 ら...
 一...

昭法式

一...
 相...
 ら...

大段ホリ

沈句 くらゝのふにほいーまのふにほいー

打れて舞のふにほいーまのふにほいー

けいふと始て他漢のふにほいーまのふにほいー

終ーやふと始て他漢のふにほいーまのふにほいー

而一持とまふとあふと一持とまふとあふと

きふふふ一対相對とて服のふにほいーまのふにほいー

勿論けい服とてふにほいーまのふにほいー

口付とて茶の客位服とてふにほいーまのふにほいー

角服と茶の客位服とてふにほいーまのふにほいー

茶の客位

一才とてふにほいーまのふにほいー

一才とてふにほいーまのふにほいー

一才とてふにほいーまのふにほいー

一才とてふにほいーまのふにほいー

一才とてふにほいーまのふにほいー

老子曰一才二才三才即歸一十論曰三即一

いさゝかといふこと

沈む 何れも年の暮れは 集まらぬ

何れも年の暮れは 集まらぬ

いさゝかといふこと

何れも年の暮れは 集まらぬ

何れも年の暮れは 集まらぬ

ちりちりたる雨の音 聞こえぬ

あゝいさゝかといふこと

大空の雲 又飛ぶの音 聞こえぬ

あゝいさゝかといふこと

四ヶ月の月

一四ヶ月の月 昔も今も 月とて 大いなる

場所 月とて 昔も今も 月とて 大いなる

場所 月とて 昔も今も 月とて 大いなる

場所 月とて 昔も今も 月とて 大いなる

附録 五ヶ月の月 六ヶ月の月 七ヶ月の月 八ヶ月の月

格別

いさゝかといふこと

ちねとて幾とてお夕輝く

又

楊の板とて川に流るる

大嵐あつての舟もあつて

跡とてちねの舟もあつて

附きとて

腰もあつて流るる

流るる 川に流るる

流るる 川に流るる

ら進善とて我族他人とて
情もあつて他人とて
七人の功とて
流るる

流るる

流るる
流るる
流るる
流るる

孝弟の徳を智恵の徳と云ふ

仁の徳を義の徳と云ふ

礼の徳を節の徳と云ふ

智の徳を信の徳と云ふ

信の徳を忠の徳と云ふ

忠の徳を孝の徳と云ふ

孝の徳を弟の徳と云ふ

右の如く法考を云ふ

掛てよしの徳也

孝弟の徳を智恵の徳と云ふ

仁の徳を義の徳と云ふ

礼の徳を節の徳と云ふ

智の徳を信の徳と云ふ

信の徳を忠の徳と云ふ

忠の徳を孝の徳と云ふ

とちてしよしよちうの約と附うのび、
あふ

あふしよあふれしよ
あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ
あふしよあふれしよ
あふしよあふれしよ

あふ

あふしよあふれしよ
あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ
あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ

あふしよあふれしよ

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in several lines within a rectangular border.

Handwritten title or section header in Arabic script, possibly reading 'Furqan' or similar.

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'بسم الله' (In the name of God).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'الحمد لله' (Praise be to God).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والصلاة والسلام على سيدنا محمد' (Prayer and peace be upon our Lord Muhammad).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والعائلة الطيبة' (And the good family).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'آمين' (Amen).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والله اعلم' (And God knows best).

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in several lines within a rectangular border.

Handwritten title or section header in Arabic script, possibly reading 'Furqan' or similar.

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'بسم الله' (In the name of God).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'الحمد لله' (Praise be to God).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والصلاة والسلام على سيدنا محمد' (Prayer and peace be upon our Lord Muhammad).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والعائلة الطيبة' (And the good family).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'آمين' (Amen).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والله اعلم' (And God knows best).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والله اعلم' (And God knows best).

Handwritten word or phrase in Arabic script, possibly 'والله اعلم' (And God knows best).

Handwritten text in Arabic script, top line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, middle section of the right page.

Handwritten text in Arabic script, top line of the left page.

Handwritten section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, middle section of the left page.

跋

東武の弁こりしる正傳とてれん
 くの事一の志ほりりし一書とてん
 ちるしめちるしる事一の久しふふ
 田の田園やそしちるしる事一の
 免ちるしる事一の免ちるしる事
 りるしる事一の免ちるしる事
 ちるしる事一の免ちるしる事
 免ちるしる事一の免ちるしる事
 免ちるしる事一の免ちるしる事

もわのちるしる事一の免ちるしる事
 免ちるしる事一の免ちるしる事
 免ちるしる事一の免ちるしる事
 免ちるしる事一の免ちるしる事

免ちるしる事一の免ちるしる事
 免ちるしる事一の免ちるしる事

東
林

神田表紙係訂五高地
萬卷堂存版

